

(裏松)日野重子

室町幕府6代将軍足利義教の側室。子義政が8代将軍になり、日野家の女子の幕政関与が始まる。

ひのしげこ

・・・・・・1411 = 生。贈左大臣裏松重光の娘。日野義資の妹。

・・・・・・1420 = 9歳 :

義教籤引将軍1428 = 17歳 :

琉球全島統一1429 = 18歳 :

将軍足利義教の側室となる。妻妾は19人を数えたが、義教の横暴は凄まじく、妻妾たちは些細なことで、義教から激しい暴力を受けたり御所から簡単に追放されたりし、戦々恐々とした日々を過ごすなか、

世阿弥配流・1434 = 23歳 : 義勝,

・・・・・・1436 = 25歳 : 義成(義政)を生む。

永享の乱始・1438 = 27歳 :

嘉吉の乱・1441 = 30歳 : \*義教が赤松満祐に殺されたのち、義勝が7代将軍となり、

対馬嘉吉条約1443 = 32歳 : 義勝の夭折後、

将軍空白期を経て、

成氏鎌倉公方1447 = 36歳 :

足利義政将軍1449 = 38歳 : \*義政が8代将軍となると、生母として幕政に関与し、権力を振った。日野家の女子による幕府への容喙は、重子からはじまったといわれる。

古河公方始・1455 = 44歳 : \*義政の正室に日野家から富子を迎えたのは、重子と富子の兄の勝光の熱心な希望によったものであった。

・・・・・・1456 = 45歳 :

・・・・・・1463 = 52歳 : \*重病にとりつかれ、これは重子・富子が追放して自殺させた義政の寵女今参局の怨霊によるものと考え、その追善供養を行ったが、没した。